

2011年度 『館長懇話会』 要旨

日時：2011年6月17日（金）11:30～12:55

場所：倉敷芸術科学大学 ヘルスパイア倉敷 フィットネスルーム2

出席：46校 館長53名（会長校 立教大学含む）

テーマ：「大学図書館における学習支援の可能性と限界」

開会のことば：広島修道大学 図書館次長 常広 一信

開会の挨拶：広島修道大学 図書館館長 森川 泉

進行役に部会長校の広島修道大学図書館 森川 泉館長を選出し、「館長懇話会レジュメ」に基づき説明、進行が行われた。

1) テーマ設定の趣旨説明

昨年、同志社大学が実施したアンケート調査を基に、今回のテーマ「大学図書館における学習支援の可能性と限界」を設定した。

参加図書館における学習支援、教育支援の実践事例報告の情報交換により、方法・知見の交流を深めたい。

2) 参加者自己紹介

（時間的制約のために所属大学名と氏名のみ限定）

3) 「学習支援」・「教育支援」の事例紹介と質疑

最初に広島修道大学からテーマの趣旨に沿った支援の事例紹介があった。

- 学生ピア・サポーター12名登録（その内、院生8名）。3フロアの各階に学生ピアを配置し、学生の相談にのっている。職員への質問より親しみやすく利用件数は多い。
- IT機器関連の質問は、別の専門スタッフ「ヘルプデスク」が対応している。
（4月の履修登録時、7月・1月の試験期）
- 授業との接点として、教務部と連携してレポートの課題が出されたらその内容の報告を受け、図書館は関連する参考資料を揃えるなどして対応している。

Q ピア運営の時間帯は？ ピアはボランティアか？

A 3月に募集し、事前説明を受けて4月から勤務している。

運営の時間は、ピア学生の授業のない午後の時間帯で、概ね12:30～18:00の間で、アルバイト雇用している。

専門的な質問については、ピア学生の専攻分野が偏らないよう1～3階のフロアーに分けて配置している。

Q 図書館利用支援が主か？ 教育センター支援機能が主か？

A 両方の機能に跨って対応している。

広島工業大学から事例紹介があった。

- 教育学習支援センターに高校退職教員（英語、数学、物理）を 8:30～18:30 の時間帯に常時 3 名以上を配置している。
- メディアセンターには学生サポートとして院生 10 名を 17:00～21:00 の間配置している。
- ラーニングcommonsは一昨年竣工した新講義棟の 3 階に新設し、新刊図書のみを開架している。図書館スタッフは配置していないが、職員がいる PC コーナーがすぐ隣にある。
- 学生選書として「ブックハンティング」を広島市内の書店で実施している。
- 新入生ガイダンスは、初年次セミナーとして 90 分間図書館が担当し、メディアの取り扱いや図書館利用法等の説明を制度的に行っている。

ブックハンティングについて

広島女学院大学から事例紹介があった。

- ブックハンティングは数年前から希望学生を募って実施している。
- 司書課程があるので、ラーニング・アドバイザーを配置してレポートの書き方、講義についての質問などの学習支援を行っている。

奈良産業大学から事例紹介があった。

- 学生の選書委員により大阪市内の書店でブックハンティングを実施している。

ラーニングcommonsについて

立命館大学から事例紹介があった。

- 今年 4 月、衣笠図書館 1 階にパソコンルームを改装して、ピア・ラーニングルーム（通称「ぴあら」）を開設した。
- 学生同士の主体的な学びを促し、複数人数での「グループ学習」と「一人で静かに」という従来の図書館機能とはスペースを分けている。
- 学内ではパソコン機器の貸出をしている。LAN 接続環境は整っている。
- グループ学習環境への対応を行っている。

広島修道大学

- 図書館 1 階に IT 機器が利用できるメディアスペースと、学生も利用できる展示ギャラリースペースがあり、ともによく利用されている。

倉敷芸術科学大学から事例紹介があった。

- 学内のどこからでもネットワークに接続できる環境としている。
- ラーニングcommonsは未設置であり、今後の課題である。
- 図書館員の平均年齢が若いので、利用者支援に対応し易いと思っている。

九州産業大学から事例紹介があった。

- 図書館に 20～30 名収容できるグループ学習室が 4 室あり、図書館資料と貸出 PC を活用したゼミ活動を行っている。

金沢工業大学から事例紹介があった。

- 図書館利用教育と授業指導、学習支援のプロジェクトデザイン教育をカリキュラムの支柱において実践している。
- 「サブジェクト・ライブラリアン」は、新図書館が開設された 1982 年から制度化され、14 学科ある各分野の専任教員が、図書館レファレンスカウンターや学習支援デスク、ライティングセンターにオフィスアワーを設けて配置されている。さらに利用者支援と蔵書構成計画立案、選書なども行っている。
- 課題解決のための専門教員の配置を制度化している。

Q プロジェクトデザイン教育は文系学部でも導入可能か？

A 理系に固有の条件ではないと考えている。本学の場合、図書館のサポート機能ではなく、教育システムに組み込んである。

甲南大学から事例紹介があった。

- 「教科支援ガイダンス」を今年 4 月から強化して、授業の一環として実施している。
- 2 年生以上のガイダンスのレベルをどう高めていくかが課題である。
- 理工系と人文社会系学科があるので、その対応を検討している。

制約された短い時間であったが、多くの図書館から事例報告や質疑応答が活発に行われ、有意義な館長懇話会、情報交換の場であった。

以 上